

出資法人等評価・カルテシート（平成 26 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団		
所在地	豊中市服部西町 5-1-1	所管部局・課	教育委員会 スポーツ振興課
設立年月日	昭和 62 年 6 月 4 日	代表者	理事長 桑村 三十三
基本金・資本金	基本財産 100,000,000 円	うち市出資額（率）	100,000,000 円（100%）
設立目的	豊中市及び豊中市教育委員会との緊密な連携のもとに、体育施設の効果的・効率的な活用を促進するとともに、各種市民団体との協働を基本とした生涯スポーツを推進することにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に資することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H24			H25			H26		
		市派遣	市OB		市派遣	市OB		市派遣	市OB	
役員	常勤	2	0	1	2	0	1	2	0	1
	非常勤	5	1	0	4	0	0	5	0	0
職員	常勤	16	0	0	16	0	0	15	0	1
	非常勤	147	0	1	117	0	2	138	0	2
役員の平均年間報酬（H25年度、千円）※常勤のみ		0			職員の平均年間給与（H25年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			5,370 千円・40.0 歳		

3 財務関係

		金額（千円）		
		H23	H24	H25
損益計算書	総収入	705,724	745,228	704,759
	（うち市受入金）	572,591	576,023	576,433
	総費用	679,932	728,989	712,712
	経常損益	26,892	16,239	△7,953
	当期損益	26,892	16,239	△7,953

		金額（千円）		
		H23	H24	H25
貸借対照表	資産の部合計	245,927	302,058	261,067
	負債の部合計	107,265	142,857	114,119
	（うち有利子負債）	—	—	—
	純資産	138,662	154,901	146,948
	利益剰余金	138,662	154,901	146,948

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H23	H24	H25	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	—	5,150	5,150	事業運営費補助金
	管理費	—	—	—	
	運営費	—	5,150	5,150	地域連携事業
	委託料	441	3,873	4,283	健康支援室、こども未来部
	指定管理委託料	567,000	567,000	567,000	指定管理委託料
	その他	5,150	—	—	負担金
計		572,591	576,023	576,433	
ストック	貸付金残高	—	—	—	
	債務保証残高	—	—	—	
	損失補償残高	—	—	—	
	出資金	100,000	100,000	100,000	昭和62年度出資
	その他	—	—	—	
計		672,591	676,023	676,433	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H23	H24	H25
スポーツ教室 ※豊島体育館1月～3月休館	幼児から高齢者まで多くの市民が身近にスポーツで出会い、生涯にわたってスポーツに親しむ機会となるよう各種スポーツ教室を実施。	教室受講者数	130,541	129,203	121,282
水泳教室		教室受講者数	69,892	73,222	77,336
短期教室	市民が参加しやすい環境づくりと、地域や施設の特徴を生かし内容に特化した教室を実施。	教室受講者数	20,437	24,340	24,608
受託事業 (こども未来部)	こども未来部と連携し、豊中市内の公立保育所へ運動指導を実施。(げんキッズ)	実施回数	—	5	63
受託事業 (健康福祉部保健所 地域保健課)	特定保健指導対象者を中心に運動講座・健康講話を実施。(無理しないカラダづくり)	実施回数	53	57	20
受託事業 (保健体育推進チーム)	小学生の水泳授業の補助及び苦手克服のための水泳指導を目的に実施。	実施回数 学校数	—	6 1	10 2
共催事業 (障がい者団体)	支援が必要な子どものために指導者を派遣し、水泳・体操教室を実施。	実施回数	4	36	36
社会貢献事業 (中学校早朝開放)	豊中市中学校水泳部のオフシーズン中の練習場所の提供及びプールの清掃活動	実施回数	9	59	98

社会貢献事業	地域・学校・大学・各種団体等と連携し幅広い事業を実施。	事業数	—	50	15
地域貢献事業	各種地域団体等と連携して事業を実施。	事業数	—	5	10
地域交流事業 (二ノ切温水プール)	地域との交流イベントとして小中学生を対象に水中運動会・餅つき大会を実施。	申込者数 (水中運動会) (もちつき大会)	237 60	195 65	236 61

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H23	H24	H25
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	80.3%	77.2%	81.8%
人件費比率 (%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	28.4%	25.3%	28.0%
管理費比率 (%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.3%	1.0%	1.1%
正味財産比率 (%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	56.4%	52.7%	56.3%
固定比率 (%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	121.3%	107.5%	115.4%
流動比率 (%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	115.7%	128.9%	127.5%

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(平成25年度制度策定。新給料表へ仮格付け。)
見直し予定	<input checked="" type="checkbox"/> 予定あり(平成27年度予定) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み(年月)

イ 情報公開

公開ツール	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ(URL: http://www.spotoyo.com) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他()
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考
・体育館4館、武道館ひびき、高川 スポーツルーム	平成23年4月から平成28年3月	共同事業体として受託
・温水プール2館	平成23年4月から平成28年3月	

6 経営上の課題

- ① 自主財源比率の拡大⇒受託事業等の財団独自事業の大幅拡大。
 [現状：指定管理委託料80%・受託事業+自主事業等20%]
- ②コンプライアンスの向上⇒財団組織における透明性・適正性を内外に示すため、各種制度・規則について明確にし、職員のコンプライアンス意識向上を図る。
- ③財団ビジョン・アクションプランの実現⇒豊中市が示す財団の役割を可能にするため、財団ビジョンに基づく、アクションプラン（具体的な取組み）を進める。また、職員に対して、財団の役割・財団の方向性について周知する。
 [現状：財団ビジョン・アクションプランの策定]
- ④人材育成⇒人材育成プランに基づく、人事制度・研修制度・給与制度の本格運用を進める。
 [現状：人材育成プランの策定]
- ⑤行政との関係整理⇒行政と財団の役割を明確にし、市民スポーツの振興を進める。

7 経営改革の取り組み（平成 25 年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
運営方針の明確化	豊中市長の施政方針等を参考にして、年度当初に理事長から今年度の財団の運営方針を示し、方針に基づき持続可能な財団運営を進める。	現在の取組みを継続する。
年度目標の設定	各課・各施設・各プロジェクトチームで年間のスケジュールと事業の目標設定をし、事業・予算において進行管理を進めるとともに、職員間の目標・意識統一を目的とする。	組織評価制度を確立するため、業務評価の基準を検討する。
プロジェクトチームの設置	財団の組織運営に関する諸課題において、プロジェクトチームを設置し、横断的組織による検討を進めた。	プロジェクトチームの検討内容を基に各課で運用に向けて取組みを進める。
人事評価の実施 （新たな取組み）	年度当初に職務目標設定を各職員が行い、目標達成に向けて業務に取り組む仕組みを策定した。	評価の実現に向けて、職種ごとの役割・職階ごとの役割を明確にする。
財団ビジョン・アクションプランの策定 （新たな取組み）	豊中市スポーツ推進ビジョンの策定を受け、財団の役割を果たすべく、財団ビジョン及びアクションプラン（具体的な取組み）を策定した。	財団ビジョン（持続可能な財団運営）の実現に向け、豊中市・豊中市教育委員会及び各種団体と連携し、アクションプランを遂行する。
人材育成プランの策定 （新たな取組み）	財団の役割を果たすべく、人材育成に関する人事制度・研修制度及び給与制度を策定した。	人事制度・研修制度・給与制度の本格運用に向けて取組みを進める。
事業の拡大	持続可能な財団運営を進めるために、豊中市等と協働・連携した事業の拡大を進め、財団がスポーツ専門職としての役割を果たす。	公益法人として、高齢者・障がい者を対象とした事業の方向性を定め、事業拡大を進める。
地域貢献事業の拡大	1 施設・1 事業を実施し、各地域と連携し事業を展開することで、施設の設置目的・	地域と連携することで、地域に根付いた施設運営をめざす。

	役割を果たす。	
--	---------	--

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	<p>豊中市のスポーツ推進ビジョンにおいて、当財団の位置づけ及び役割が明確に示された。実施した全ての事業が、ビジョンに沿った内容であるという認識を持っている。</p> <p>子どもの体力向上のために早い時期からの運動習慣をつける必要がある。保育幼稚園室からの受託事業である、「げんキッズプロジェクト」や小学校への水泳指導は、社会状況・ニーズに適合している。</p> <p>指定管理者として行っている指定事業については、財団が評価すべきではない。</p>	<p>豊中市のスポーツ推進ビジョンにおける、当財団の役割、使命を果たすために、これまで培った経験やノウハウを活用し、財団ビジョン・アクションプランを策定した。</p> <p>それに基づき、①生涯スポーツの推進、②各種市民団体との協働、③健康づくりの支援、④効率的で多様なサービスの提供を柱に公益性の高い事業を拡大していく。</p>
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	<p>現状の事業実施については、人的・物的経営資源は有効に活用している。</p> <p>また、人的経営資源を有効活用するため、職員のやりがいを高めるために、人事給与制度及び研修制度の2本柱からなる人材育成プランを策定した。</p>	<p>豊中市のスポーツ振興を拡大していくために、より多くの資源を投入していきたいところであるが、指定管理施設における、物価の高騰における光熱水費の増加などは、大きな影響を受けている。</p> <p>豊中市のビジョンで明らかにされた、財団の役割を全うし、使命を果たすために自主財源の拡大をめざす。</p>
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	<p>受託事業・社会貢献事業・地域貢献事業など各種事業について、意図する成果に結びついていると評価する。</p> <p>特に25年度からの取組みとして、指定管理受託各施設を基点として、地域に根ざした特色ある事業を展開し、地域の方々に喜んでいただけた。</p> <p>指定管理者として行っている指定事業については、財団が評価すべきではない。</p>	<p>社会貢献事業、地域貢献事業においては、様々な団体との連携を深め、地域の活性化に寄与するよう事業拡大をめざす。</p> <p>受託事業については、学校、保育所、幼稚園と連携した、幼少期から運動に親しみ身体を動かすことの楽しさを伝えられる事業を進める。また、親しみやすい財団として多くの市民に認知していただき、各種事業に参加してもらうことは、スポーツ実施率の向上につながるため、CI（コーポレートアイデンティティ）事業にも力を入れていく。</p>
総合評価	<p>上記に記載のとおり、市民のニーズに合った事業を効率的・有効的に実施できたと評価する。</p> <p>豊中市スポーツ推進ビジョンで明らかにされた使命を果たしていくための、ビジョン・アクションプランの策定、持続可能な財団運営を進めるための制度基盤の構築をすることもでき、豊中市から自主・自立した、財団運営を行う仕組み作りができた1年であった。</p>	<p>豊中市スポーツ推進ビジョンに基づいた、財団ビジョン・アクションプランの遂行が、豊中市の出資法人として評価されることだとの認識で、アクションプランどおり各種事業を進める。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか 	<p>財団が実施している各種事業は、子どもから高齢者まで幅広い年代にスポーツに親しむ環境の充実を図っており、第3次豊中市総合計画で示されている施策の方向性と合致したものとなっています。</p> <p>また、今後スポーツの推進を図るうえでの目標像を定めた「豊中市スポーツ推進ビジョン」及び当該ビジョンの実現に向けて策定した「豊中市スポーツ推進計画（平成26年3月策定）」に基づき、今後具体的な取り組みを進めることにより、財団の役割は高まるものと考えています。</p>	<p>豊中市スポーツ推進計画において明確に示した財団の役割を果たすためには、事業の進捗管理を行いながら、運動実施率の向上を図ることが求められます。</p> <p>また、運営において自主財源の拡大やより効率的、効果的な運営ができるよう、引き続き事業の見直しを実施する必要があります。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか 	<p>指定管理者制度が導入され、指定管理者として、施設の管理運営を担い、効率的な運営に努め、長年にわたり市に貢献しています。</p> <p>また、地域や施設の特徴を活かした事業運営を行い、本市のスポーツの推進に貢献しています。</p>	<p>屋内体育施設の管理運営を行うだけでなく、幅広いニーズを把握し、専門性を有する財団であるからこそできる事業展開に期待します。</p> <p>各種市民団体と協働したスポーツの推進事業の拡大や配慮が必要な人がスポーツをするための支援等に取り組んでいくことが望まれます。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か 	<p>「すべての市民が、それぞれの関心や目的に応じたスポーツに親しみ、健康で活気に満ち、人や街とのつながりにあふれたスポーツ文化の推進」というスポーツ推進ビジョンの目標像の実現に向け、生涯スポーツ推進のため受託事業・社会貢献事業・スポーツ教室などの各種事業を展開するとともに効率的な運営に努め、市に貢献しています。</p>	<p>生涯スポーツの推進のため、市や各種市民団体など多様な主体との連携、協働により効果的、効率的な事業を展開していくことが期待されています。今後、豊中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ実施率の向上に向け、多様なニーズに応じたスポーツの機会を提供するとともに、実際にスポーツをする人を支える環境の充実や情報提供を推進するための具体的な取り組みを進める必要があります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>子どもから高齢者まで身近なところで、各々のライフステージに応じたスポーツ活動を継続して実践できるよう、スポーツの推進が行われています。また、さらなる効率的な事業運営に向け、組織制度や人事給与制度等の仕組み作りが進められました。</p> <p>さらに、今後は豊中市スポーツ推進計画を踏まえ、具体的な取り組みを進め、公益財団法人として、市民の生涯スポーツ推進に貢献していただきたいと思っています。</p>	<p>財団には、指定管理者としての管理運営施設外でも事業のより一層の充実・拡大を図り、豊中市スポーツ推進計画に基づくスポーツ施策を着実に進めていただきたいと思います。</p> <p>引き続き、人材育成・財政基盤の強化に取り組んでいただき、持続可能な財団運営が行われるよう期待します。</p>